

第17回宇宙産業・科学技術基盤部会 議事要旨

1. 日時：平成28年5月13日（金） 15：00 - 15：50

2. 場所：内閣府宇宙開発戦略推進事務局大会議室

3. 出席者

(1) 委員

山川部会長、青木委員、下村委員、松尾委員、山崎委員、渡邊委員

(2) 政府側

小宮宇宙開発戦略推進事務局長、佐伯宇宙開発戦略推進事務局審議官、松井宇宙開発戦略推進事務局参事官、高見宇宙開発戦略推進事務局参事官、末富宇宙開発戦略推進事務局参事官

4. 議事要旨

(1) 宇宙政策委員会 中間取りまとめに向けた検討課題について

資料1及び資料2に基づき内閣府から説明を行った。説明の後、以下のような意見等があった。（ ）：質問・意見等 （ ）：回答）

再使用型宇宙輸送システムは、HTV-Xとはどのような関係になっているのか。再使用型宇宙輸送システムとHTV-Xは別のものとして考えている。HTV-XはISSとの関係で議論されるものである。また、再使用化が前提ではなく、コストや信頼性等さまざまな観点から議論し、基幹ロケットとの関係を踏まえ、今後検討をしていくものである。

準天頂衛星で測位精度が上がると、位置情報だけではなく速度もわかるようになる。速度情報をアプリで活用するなどすれば応用の範囲が更に広がるので、今後その点も推進すべき。

宇宙産業ビジョンの検討等に水平展開する。また、既にスポーツ分野の民間企業で活用が期待されているところ。

ISEF2に向けて、これからどのように議論を進めていくのか。

探査についての議論は、アングルによっては議論の幅と深さが大きく変わるため、まずISEF2の位置づけや何を議論するのかの整理を行うのではないかと。

議論の結果、宇宙産業・科学技術基盤部会は、宇宙政策委員会が取りまとめた「工程表改訂に向けた中間取りまとめの構成」及び「宇宙政策委員会 中間取りまとめ」に基づき、「宇宙政策委員会 中間取りまとめ」に向けて議論を進めていくこととなった。

(2) その他

参考資料1及び参考資料2に基づき内閣府から4月14日に開催した宇宙システム海外展開タスクフォース上級会合の結果について説明を行った。

以上